

ポスター | 1-12 自律神経・神経体液因子・心肺機能

ポスター

自律神経・神経体液因子・心肺機能

座長:馬場 礼三(あいち小児保健医療総合センター)

Fri. Jul 17, 2015 1:50 PM - 2:32 PM ポスター会場 (1F オリオン A+B)

II-P-094~II-P-100

所属正式名称:馬場礼三(あいち小児保健医療総合センター 循環器科)

[II-P-096]成人先天性心疾患におけるバイオマーカー, 腎機能, および心不全の予後

○宮本 健志, 竹内 大二, 稲井 慶, 篠原 徳子, 清水 美妃子, 豊原 啓子, 富松 宏文, 石井 徹子, 杉山 央, 中西 敏雄(東京女子医科大学 循環器小児科)

Keywords:神経液性因子, 心不全, Brainnatriuretic peptide

【背景】近年では腎機能の低下が ACHDの心不全(heart failure: HF)イベントに関与していることが報告されている。循環器疾患のバイオマーカーは先天性心疾患(congenital heart disease: CHD)の HFイベントに関与しているが、腎機能の低下、バイオマーカーと予後の関係を調査した研究は少ない。【目的】腎機能低下、バイオマーカーが CHDの HFイベントの危険因子となりえるか。【方法】エンドセリン(ET)1,ノルエピネフリン(NE),アルドステロン,アンジオテンシン(AT)-II,血漿レニン活性(PRA),BNP,高感度 CRP,高感度 TNF- α ,sTNFR-I,sTNFR-II,IL-6の採血を施行後,経過観察中の心不全増悪による入院と各項目との関連を後向きコホート研究で解析。【結果】104例の ACHD患者を対象に平均観察期間は4年であった。登録時に HF入院は24例,慢性腎疾患(chronic kidney disease: CKD)は7例いた。28例(26%)が HFイベントを生じた。HFイベントに CKD,初回 HF入院が関与していた。単変量解析では高感度 CRP,高感度 TNF- α ,sTNFR-I,sTNFR-II,IL-6,BNP,NE,AT II,PRA,ET1が HFイベントに関与し,Stepwise法では BNP (調節ハザード比 [95%信頼区間] 2.083 [1.190-3.644], p=0.010)および NEが HFイベントに関与,初回 HF入院および CKDを共変量とし多変量解析し BNP (調節ハザード比 [95%信頼区間] 2.635 [1.161-5.980], p=0.020)および CKDが HFイベントと関与していた。【考察/結語】心不全の病態に CKDと BNPが関与していた。